

いちき串木野市総合体育館の指定管理者の決定について

総合体育館の指定管理者について、いちき串木野市公の施設指定管理者選定審議会の審査結果を踏まえ、指定管理者を次のように決定いたしました。

1. 施設名 いちき串木野市総合体育館

2. 指定管理者 Fアリーナいちき串木野共同事業体
(代表団体)

東京都中野区東中野三丁目 18 番 12 号

株式会社 日本水泳振興会

代表取締役 坂元 要

(その他構成団体)

日置市伊集院町徳重一丁目 5 番地 11

株式会社 フィールドエックス

代表取締役 小園 康夫

3. 指定期間 令和 8 年 4 月 1 日 ~ 令和 11 年 3 月 31 日

4. 申請団体

申請団体数	内訳			
	民間事業者	NPO	公社・公益法人等	その他
3	2	1	0	0

5. 選定審議会及び審査結果

①審査期日 諮問・審議 令和 7 年 10 月 2 日 (木)
(識見委員 4 名 内部委員 5 名 合計 9 名)
プレゼンテーション・答申 令和 7 年 10 月 14 日 (火)
(識見委員 4 名 内部委員 5 名 合計 9 名)

②審査結果

申請者名	Fアリーナいちき串木野共同事業体	A社	B社
得点	809.0 点	714.0 点	358.4 点

6. 申請の概要

(当該施設の指定管理者の指定を申請した理由)

株式会社日本水泳振興会は、いちき串木野市総合体育館の指定管理者として、過去約 9 年間にわたり管理運営に尽力。この間、利用者のニーズや利用傾向を的確に把握し、運営に反映させるとともに、新型感染症対策にも迅速かつ柔軟に対応し、安全・安心・快適な施設運営を継続。

特に第 3 期においては「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」が開催され、市内外から多くの来訪者を迎えるなど、本施設の効用を最大限に発揮できる重要な機会となった。日本水泳振興会は、この大会の盛り上げに向け、様々な形で積極的に支援・協力を行い、市民とともに感動を共有する場の提供に努めた。

日本水泳振興会は、いちき串木野市において大規模なスポーツ競技大会の開催経験を有する本施設の価値を一層高めるべく、次期指定管理においては、スポーツマネジメントを通じて地域密着型のスポーツイベントの企画・チーム運営、選手のマネジメント・サポート等を行い、スポーツ振興及び地域貢献に資する取組を推進する株式会社フィールドエックスとともに「Fアリーナいちき串

木野共同事業体」を組成し、本事業に取り組む。

当グループの有する経験と実績を効果的に活用し、より地域に密着し、また、市内外からの利用者を呼び込む取組を行い、本施設の新たな価値創造のステージに向けた事業を推進することにより、地域の活性化並びに市民の健康増進の実現につなげる。

(団体の経営方針)

スポーツ施設の管理運営や健康維持増進のための事業をとおして、地域の皆様への貢献を目指す。1,979年（昭和54年）に法人化し、今年で47期を迎えており、屋内プールと温浴施設を中心に体育館・スポーツジム・競技場等を備えたスポーツ施設全般の管理運営業務を行ってきた。

スイミングスクールやフィットネスクラブの運営業務や公共施設のPPP事業への参画など、さらなる施設運営の拡大を目指して社員一丸となって、安全・安心・快適な施設運営の実績を積んできた。

現在、管理運営を行っている公共及び民間の施設は、全国に約60か所有り、これからも地域の皆様に親しんでいただけよう、安全・安心・快適なサービスを提供し続けるよう努めていく。

弊社は経営理念である、社員一人一人の「人財力」をさらに高め、弊社が培った経験とノウハウを最大限に活かし、社会に貢献していく所存である。

人々の関心や時代の変化に的確に対応し続けることで、常に一步先を見据えたサービス展開を積極的に推進している。

安全・安心・快適を第一に質の高いサービスと様々なイベントの企画・運営をすることで「価値のある時間の創造」へと変え「生活の質の向上」「地域振興の促進」はもとより、「地域活性化」の実現を目指す。また、これまでの多くの「ご縁」を大切にし、未来に向かって発展し続ける。

1. お客様に合った運動プログラムの提供と実践・評価
2. 安全で衛生的な「場」の提供
3. 地域の人材を活かした雇用の確立
4. 行政及び民間組織団体との連携
5. 専門性を有することはもとより明るく誠実で行動力のある社員の育成
6. 目標達成（会社と個人）のための実践及び評価
7. 多角的な視野で新規事業の創造と挑戦

(当該施設の現状に対する考え方と将来展望)

少子高齢化が進行するいちき串木野市の社会的背景を踏まえ、本施設が市民の健康増進や競技力向上を支える場として、今後ますます重要な役割を果たすと認識しており、また、公式大会の開催等が可能なポテンシャルを活かし、地域におけるスポーツ振興の中核を担う施設としての将来展望を描いている。さらにスポーツ大会や興行等を通じて市内外から人々を呼び込み、交流人口の拡大、地域コミュニティの活性化、地域経済の発展へつながる、多機能かつ価値の高い施設であると位置づけている。

加えて、本施設は大規模災害時の避難所としても重要な役割があり、その機能を平時から維持し、緊急時にも円滑に活用できる体制の整備が不可欠である。こうした将来を見据えた施設運営には、いちき串木野市との連携実績と経験、専門性を有する指定管理者による継続的かつ的確な維持管理が必要であると考える。

これらの本施設の将来展望を踏まえ、「次世代を担う子どもたちの育成、市民の健康増進に向けた取組の推進、競技者の強化、さらには地域課題の解決や地域活性化の推進」と掲げ、それに加え、コンセプトを「質の高いサービスと安全・安心・快適な空間の提供で、本施設の価値を高め市内外のスポーツの拡大と市民の笑顔と健康の促進で地域経済・活性化」に貢献して取り組むことで、地域経済の活性化と持続可能な地域社会の発展に貢献していく所存である。この本施設の経営方針の実現に向け、「安全・安心・快適な施設」「活気のある施設」「情報発信力のある施設」「地域に根付いた施設」を具体的な取組とし、今後も施設運営に取り組む。

7. 選定の理由

得点表による採点では、Fアリーナいちき串木野共同事業体が総合点で最高の得点を獲得し、各審査項目においてもバランスよく得点をあげている。

Fアリーナいちき串木野共同事業体の代表団体である㈱日本水泳振興会は、平成29年度から指定管理を行っており、管理実績は良好であり、全国各地で同種の指定管理の実績もあることから業務に精通している。

今回の事業計画では、これまでの実績・経験を生かした提案に加え、㈱フィールドエックスの持つノウハウを生かしたスポーツ振興や地域貢献に資する提案がなされるなど、地域の活性化や市民の健康増進に繋がるものと判断でき、十分に評価できるものである。

また、人的体制も整っており、経営状況も安定していることから、当該施設の指定管理者として適切であると判断した。

8. 議会の議決

令和7年第6回いちき串木野市議会定例会で議決